

# 消防学校だより

令和5年9月号

発行年月日 令和5年9月29日  
発行 宮崎県消防学校

## 初任科（体力測定）

2回目の体力測定を行いました。各学生、1回目の記録から着実に伸びており、この半年間の成果が現れていました。体力の維持、向上は今後とも継続してください。



## 初任科（消防実務）

講師として、1期先輩の日向市消防本部 古谷 友寛消防士に来ていただき、初任科生活残りわずかとなったこの時期に「やるべき事、やっておいた方が良かったと思うこと」を含め、消防署の勤務について自らの経験を交え講話していただきました。

一期先輩の身近な話として、初任科生は真剣に話を聞いていました。



## 初任科

9月14日(木)、県防災救急航空センターで校外研修を実施しました。

まず、甲斐 文雄隊長から航空隊の運用、器材の諸元などの講義の後、航空隊の訓練を見学させていただきました。

初任科生に一つの目標ができたと思います。



## 初任科（査察シミュレーション）

消防の実施する建物への査察は、住民の生命、身体及び財産を火災から保護することを目的として実施します。消防法規を根拠に、建物所有者へ施設の改善指導や処置命令など、相手方の私的利益の制限に関わる部分があるため、根拠法令を熟知し査察を行うことの大切さと難しさを学びました。今回のシミュレーションでは対象物の関係者を教官が演じました。





## 初任科（県外研修）

9月7日（木）、8日（金）の二日間で、県外研修として高千穂峰に登山に行きました。

高千穂峰は宮崎県と鹿児島県の県境に位置し、標高は1,574mで霧島連峰第二峰になります。

登山中に降雨に見舞われましたが、山岳救助事案に必要と考えられる筋力・持久力・バランス感覚を養い事故なく下山することが出来ました。



## 初任科（夜間訓練）

9月14日（木）、夜間訓練を実施しました。

夜間という視界が悪い中での活動は、日中より更に危険が増します。

活動活況が変化しても基本動作を確実にに行い、安全な活動が行えるように訓練しました。



## 初任科（耐熱訓練）

9月15日（金）、主訓練塔にて耐熱訓練を行いました。実際に炎に接し、熱や煙を体感することで、火災救助での要救助者の迅速救助の必要性はもとより、各個人防火服、空気呼吸器の完全着装の必要性を感じた事と思います。



## 初任科（救助訓練）

ロープ登はん、ロープブリッジ渡過、ロープ降下訓練を行いました。

人命救助を行うためには、要救助者の居る場所へ、安全・確実に、そして迅速にその場所へ到達する必要があります。これからも訓練を重ね、まずは、自らの安全を確実に確保できるようにしましょう。





## 初任科（卒業式）

9月28日(木)、屋外訓練場での特別点検、査閲訓練展示後、屋内訓練場にて第68期初任科生の卒業式を執り行いました。

長引く新型コロナウイルス感染症の影響で、学校生活にも様々な制約がありましたが、初任科生20名は教育訓練に真摯に取り組み、当初の目的を達成することができました。

これからが本当のスタートです。消防士を目指したときの高い志を忘れずに、地域住民から頼られる消防士となってください。

卒業査閲訓練



式典



## 10月の主な行事

- 防火訓練（延岡市職員） 10月5日(木)・6日(金)
- 防火訓練（宮崎市職員） 10月10日(火)～10月13日(金)
- 救急科入校 10月19日(木)～12月14日(木)
- 消防団員基礎教育（普通科）1次 10月21日(土)・22日(日)
- 消防団員基礎教育（普通科）2次 10月24日(火)・25日(水)
- 消防団員基礎教育（普通科）3次 10月30日(月)・31日(火)

宮崎県消防学校  
担当:伊豆元 優一(いずもと ゆういち)  
電話:0985-56-0555 FAX:0985-56-1475  
E-mail:shobou-s@pref.miyazaki.lg.jp